



「未来へ踏み出す春 ～新たなはじめの一步～」

教頭 河浦 一成

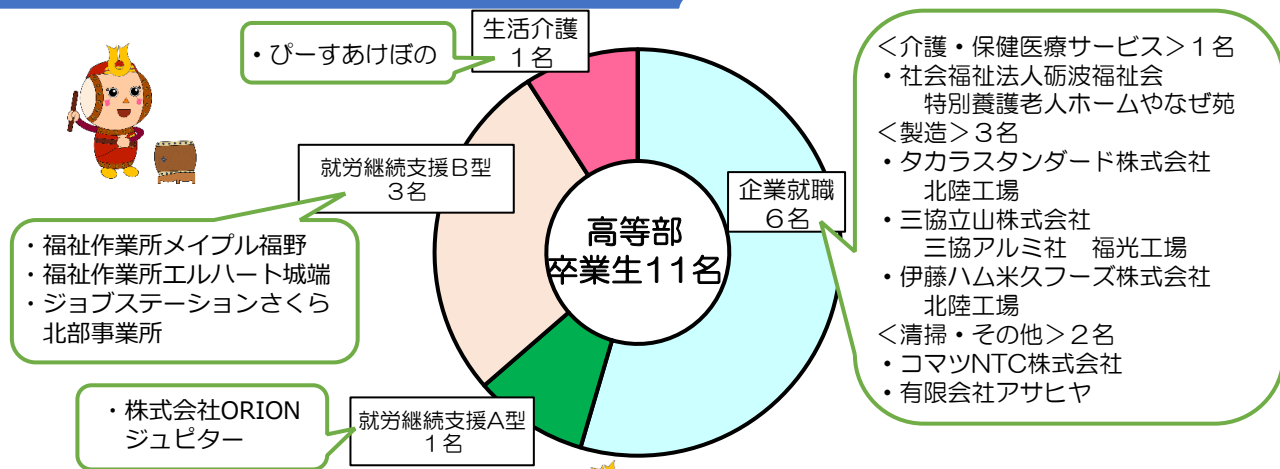
春の訪れとともに、温かな日差しが差し込んで木々が芽吹くこの時期、子供たちはそれぞれの進路に向かって新たな一步を踏み出そうとしています。

特に高等部を卒業して社会へ旅立つ皆さんは、大きな節目となる一步を迎えます。慣れ親しんだ学校生活を終え、新しい環境へ向かうことに期待とともに不安もあるでしょう。けれど、積み重ねてきた日々は、これからの人生を支える大きな力になります。学校生活は長い人生のほんの一部ですが、これまでの学びや経験、出会いは、これから未来を歩む土台になります。これまでの授業や実習、行事や部活動、仲間や先生とのやりとり……そのすべてが皆さんの心と体を育て、今の姿へと導いてくれました。

社会に出ると戸惑いや悩みもあるかもしれませんが、失敗やつまずきも大切な学びの機会です。うまくいなくても、乗り越えようとする中で人は大きく成長します。自分のペースでできることを増やしていけば、それが自信となり、未来を切り拓く力になります。そして、卒業しても忘れないでほしいのは、皆さんは一人ではないということです。家族や先生、仲間はこれからも味方です。困ったときは一人で抱え込まず、誰かに相談してください。助けを求めることは前に進むための大切な力です。

保護者の皆様、お子様の成長を見守り、支えてこられた日々心より敬意と感謝を申し上げます。卒業はゴールではなく新たなスタートです。これからもお子様が自分らしく歩めるよう、私たち教職員も応援してまいります。

## 令和7年度 卒業生の進路先



## アフターケア

本校では、卒業後2年間年2回（6月、11月）進路先の事業所を訪問し、アフターケアを行っています。卒業生や職場の方と懇談して、職場定着を図っています。



オアシス砺波



溪明園めるへん

ステップアップ目指して、がんばっています。

仕事は大変で疲れるけど、協力してがんばっています。

「A型事業所学習会」と、「就労支援セミナー」が開催され、高等部1、2学年の対象生徒と小中高の保護者の方が参加しました。生徒は講師の方からの話を聞いたり、質問に答えたりして、次年度の就業体験や将来の就労に向けて、疑問や不安を解消し、気持ち新たに取り組んでいこうと意気込む機会となりました。

### <A型事業所学習会>

講師 株式会社EACH ONE  
障害者就労継続支援施設 新の葉  
管理者/サービス管理責任者  
吉村 圭子 氏

「A型事業所ってどんなところ？」についてお話を伺いました。講話や質疑応答を通して、生徒からは「自分もA型事業所で働けるようにがんばりたい」と感想が聞かれました。

### 質疑応答より

- Q. 保険などの社会保障について詳しく教えてほしい。(保護者)
- A. 雇用保険(失業給付など受給できる)、労災保険に加入している。
- Q. 新の葉では様々な仕事があるが、利用者の希望で担当する仕事を変えられるか。(教員)
- A. 利用者の希望と適性を考慮して、変えることもできる。

### 保護者アンケートより

- ・A型事業所がどのような所か分かりやすく説明していただきよかった。
- ・就労に向けて、大切なこと、身に付けておきたいことを聞くことができた。子どもに伝えていきたい。

### <就労支援セミナー>

講師 ハローワーク砺波 職業相談第二部門 就職促進指導官 中島 美友紀 氏  
富山県特別支援学校地域就労支援アドバイザー 山田 美智代 氏

#### 「地域における障害者雇用の現状」(中島氏の講話より)

- 富山県の障害者の雇用数・実雇用率の推移(令和6年 40人以上の規模の企業)  
雇用率 2.36%(平成27年1.91%) 雇用率達成企業 49.4%  
※半数以上が精神障害者
- 雇用への流れ(全国)  
特別支援学校卒業時 一般企業29%、障害福祉サービス62%  
※福祉サービスから一般企業への就職は増加
- 砺波圏域の職業別求人・就職動向(高卒)  
製造・輸送・建設が求人、就職ともに多い



#### 「働くときに必要なこと」(山田氏の講話より)

- 1 会社や仕事を選ぶには  
→まず自分のことを知る →自分に合う仕事、職場=マッチング
- 2 卒業までにつけたい力  
→誰も見ていなくても、ほめてもらえなくても仕事をきちんとやる →給料を得る
- 3 就職はゴールではなく「すてきな社会人」のスタート  
→(職場)あいさつ・返事、休まない、安全、自分から質問、ルールを守る  
(家庭)生活リズム、体調管理、できることは自分で
- 4 困ったときは  
→家族、職場、サポート機関で相談できる相手を見つける

### 生徒の声(事後学習より)

- ・普段から挨拶や返事をする習慣を身に付けようと思った。
- ・働くために生活習慣を見直そうと思った。
- ・「ありがとう」「すみません」を素直に言うことで、周りの人に助けってもらったり手伝ってもらえることが分かった。
- ・困ったときは相談すること、休みの日にはしっかりリフレッシュすることが大切だと学んだ。